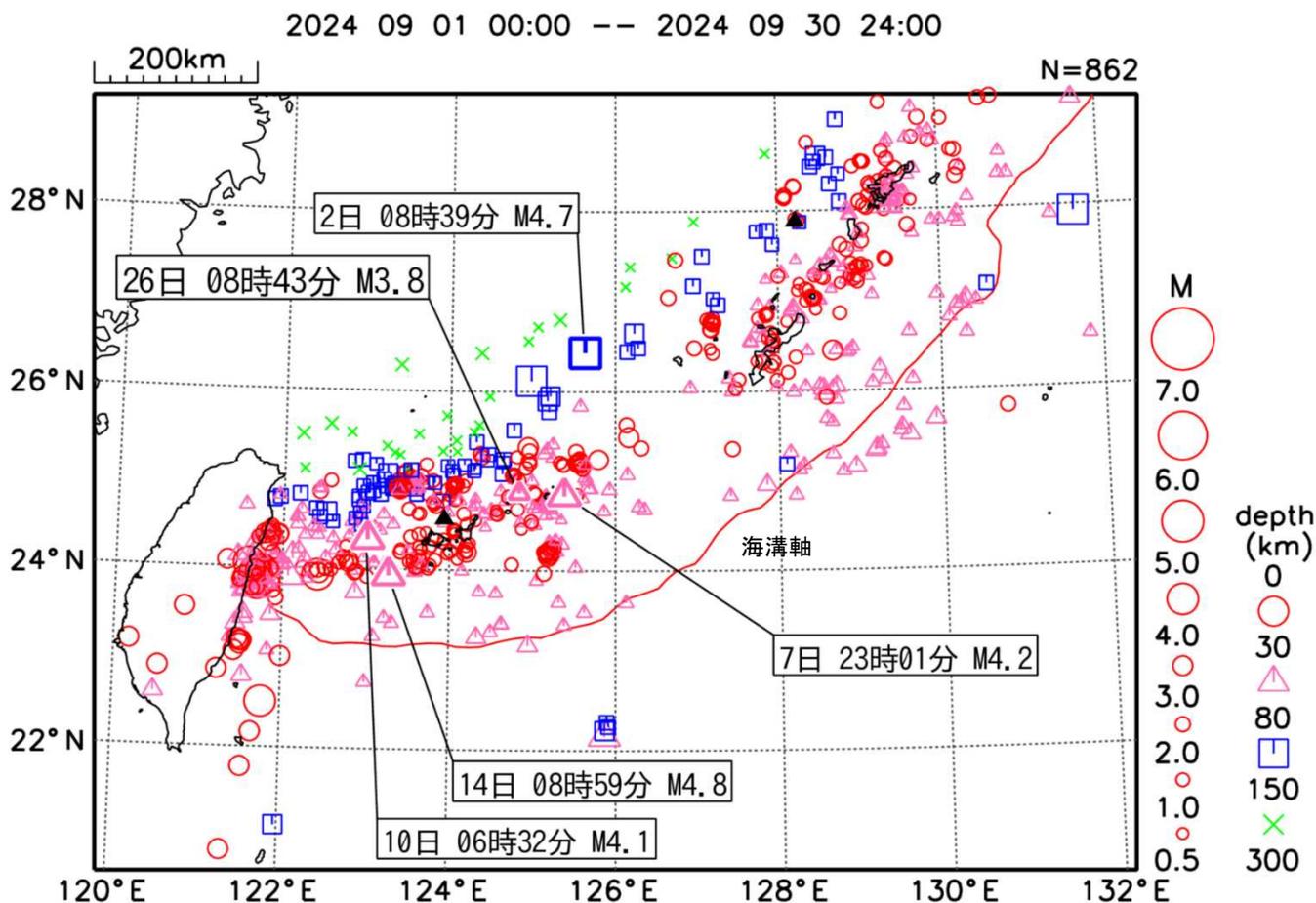


沖縄地方の地震活動

令和6年（2024年）9月

沖縄気象台



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
▲：活火山
沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概況]

今期間に沖縄県内で震度1以上を観測した地震は5回（8月は6回）でした。

9月の主な活動は次のとおりです。

7日23時01分に宮古島近海で発生した地震（M4.2、深さ48km）により、宮古島市で震度2～1を観測したほか、多良間村で震度1を観測しました。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

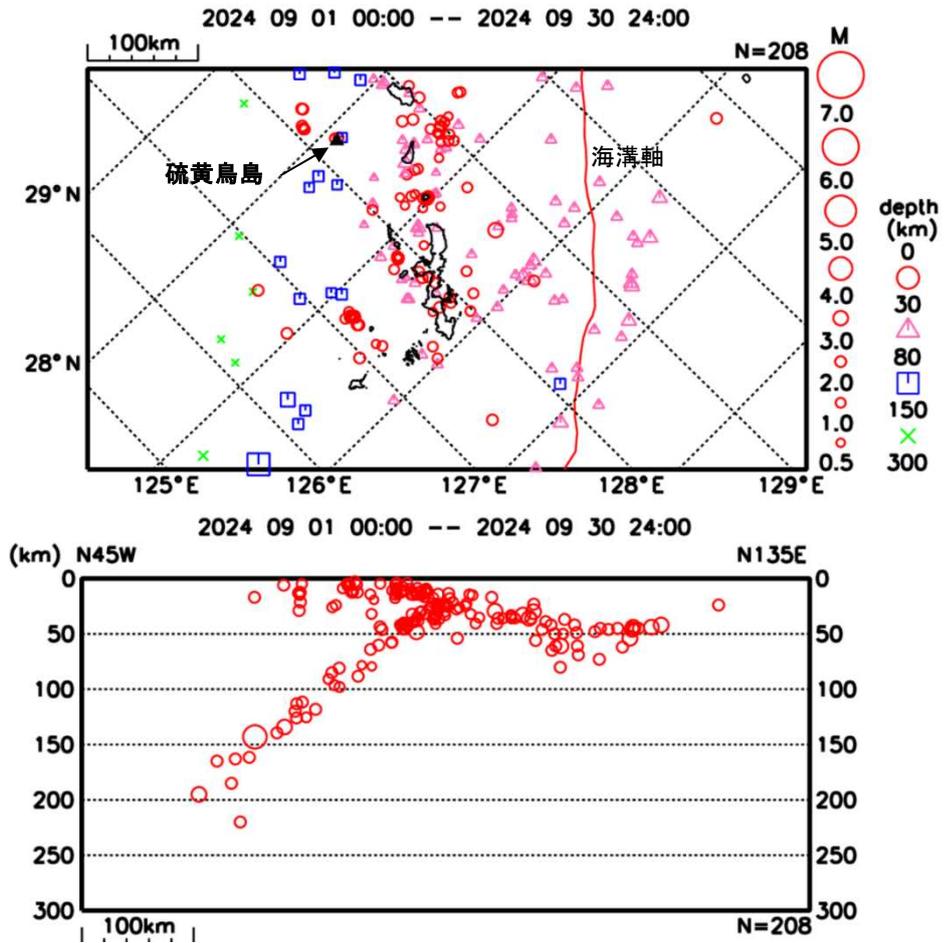


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

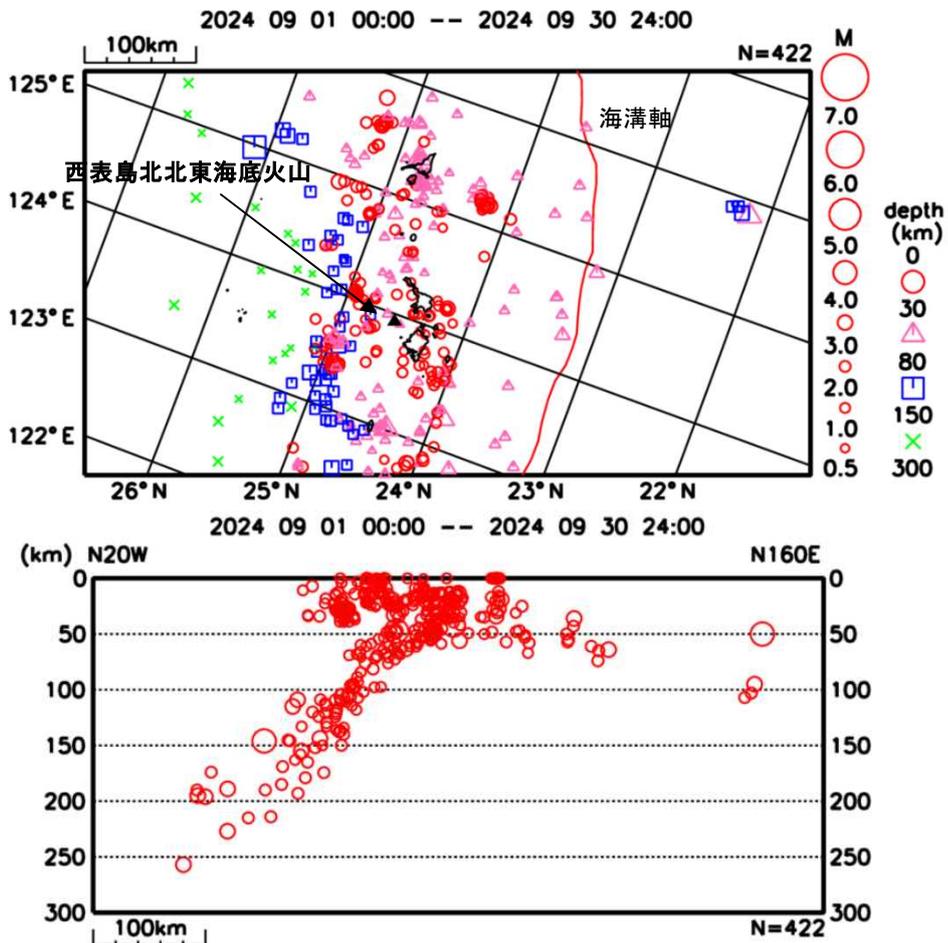
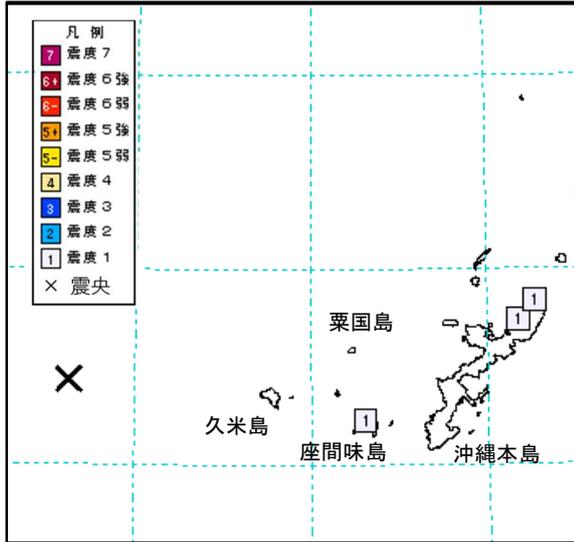
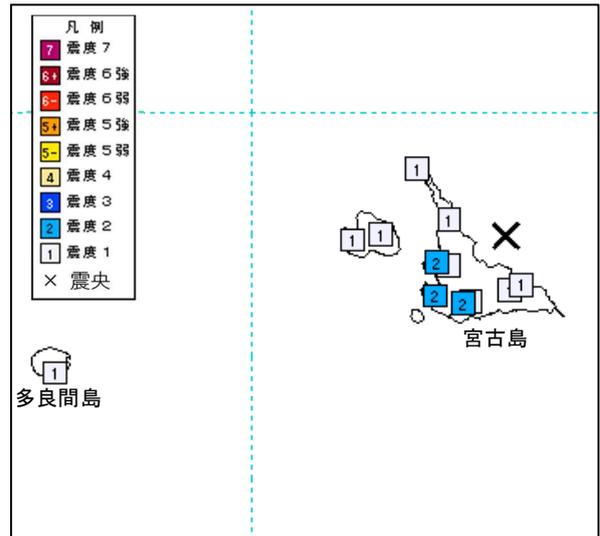


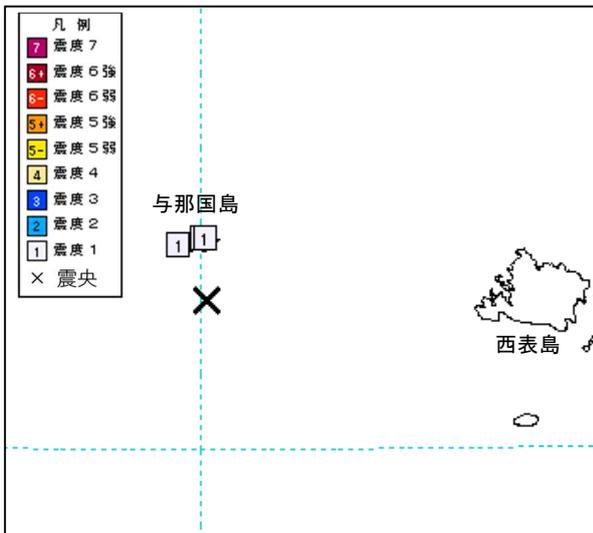
图3 震度分布图



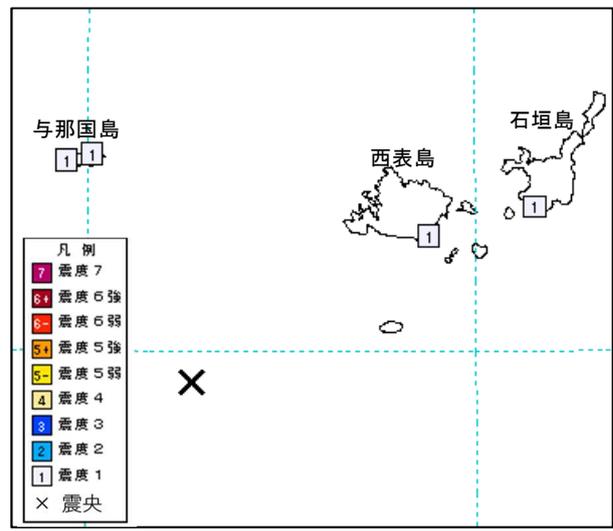
9月2日08時39分 沖縄本島北西沖 深さ143km M4.7



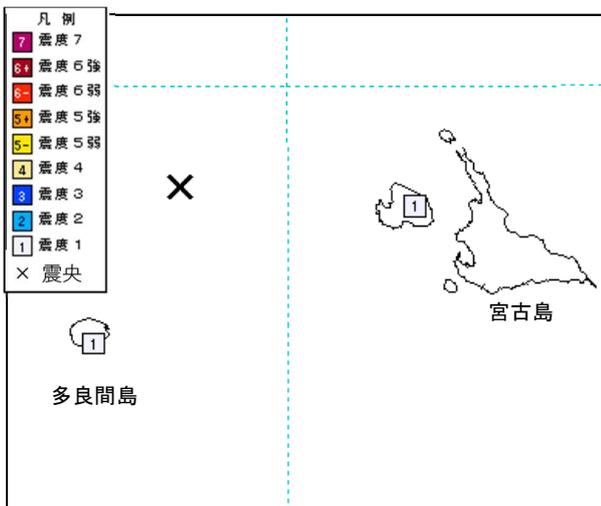
9月7日23時01分 宮古島近海 深さ48km M4.2



9月10日06時32分 与那国島近海 深さ47km M4.1



9月14日08時59分 与那国島近海 深さ42km M4.8



9月26日08時43分 宮古島近海 深さ63km M3.8

表1 沖縄県内で震度1以上を観測した地震の表（期間9月1日～9月30日）

| 震源時 各地の震度 | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | 規模 |
|--------------------------|--|-------------|--------------|-------|------|
| 2024年09月02日08時39分 沖縄県 | 沖縄本島北西沖 震度 1：国頭村奥, 国頭村辺土名*, 座間味村座間味* | 26° 25.9' N | 125° 37.8' E | 143km | M4.7 |
| 2024年09月07日23時01分 沖縄県 | 宮古島近海 震度 2：宮古島市平良下里, 宮古島市下地*, 宮古島市上野支所* 震度 1：多良間村塩川, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西* 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地島空港* | 24° 49.8' N | 125° 22.8' E | 48km | M4.2 |
| 2024年09月10日06時32分 沖縄県 | 与那国島近海 震度 1：与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場* | 24° 19.6' N | 123° 00.8' E | 47km | M4.1 |
| 2024年09月14日08時59分 沖縄県 | 与那国島近海 震度 1：石垣市新栄町*, 与那国町祖納, 与那国町久部良, 竹富町大原 | 23° 55.7' N | 123° 16.3' E | 42km | M4.8 |
| 2024年09月26日08時43分 沖縄県 | 宮古島近海 震度 1：多良間村塩川, 宮古島市伊良部前里添 | 24° 51.6' N | 124° 50.2' E | 63km | M3.8 |

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/known/memo/sougou.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-833-4295

津波防災の日

● 11月5日は、「津波防災の日」、「世界津波の日」

平成23年（2011年）6月に津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした「津波対策の推進に関する法律（以下、津波対策推進法という）」が制定されました。この法律では、津波対策に関する観測体制の強化、調査研究推進、被害予測、連携協力体制整備、防災対策実施などが規定されています。そして、国民の間に広く津波対策について理解と関心を深めるため、毎年11月5日が「津波防災の日」と定められました。また、この日は「世界津波の日」でもあります。第70回国連総会本会議（平成27年12月22日）で11月5日を「世界津波の日」を定める決議が採択されました。11月5日とした由来は、安政元年（1854年）11月5日に和歌山県で起きた大津波（安政南海地震）の際に、稲むらに火をつけることで、村民を避難させたという「稲むらの火」の逸話に由来しています。

決議においては、すべての加盟国、組織、個人に津波に対する意識を向上するために「世界津波の日」を遵守することを要請しています。

地震や津波等の自然災害は、いつおこるかわかりません。津波対策推進法では、国や地方自治体に津波避難訓練等の実施、津波防災に関連した取組の推進に努めなければならないとしています。国や自治体などで実施される訓練や防災への取り組みへ積極的に参加しましょう。



津波防災特設サイト⇒<https://tsunamibousai.jp/>

● 「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、

緊急地震速報の訓練を実施します。

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。内閣府、消防庁及び気象庁では、11月5日（火）10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。実際の地震が起きた際に適切な防災対応ができるように、この機会に身を守る行動を体験してみましょう。詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/2024/kunren.html>